

笛吹市教育委員会会議録

1 開会及び閉会に関する事項並びにその年月日時

会議名：令和3年度6月定例会

開催日：令和3年6月3日

開会時間：午後2時00分

閉会時間：午後3時40分

開催場所：笛吹市役所市民窓口館 302・303 会議室

2 出席及び欠席委員の氏名

出席者：教育長	望月 栄一
教育長職務代理	久保田 一男
教育委員	芦澤 文
教育委員	内田 淳
教育委員	飯田 多恵子
教育委員	中島 知晴

欠席者：なし

3 委員及び傍聴人を除く議場に出席した職員の職氏名

出席者：教育部長	赤尾 好彦
教育総務課長	太田 孝生
学校教育課長	長野 篤雄
学校教育課指導主事	黒澤 宏至
学校教育課指導主事	加賀美 裕子
生涯学習課長	手塚 克巳
文化財課長	望月 和幸
図書館長	吉岡 浩
教育総務課総務担当	田中 政人
〃	村松 麻耶

4 他部署より出席した長及びその事務局部の職員の職氏名

出席者：なし

5 教育長等の報告の要旨

教育長：5月13日から6月3日までの事業報告

教育総務課：5月12日から5月25日までの事業報告

学校教育課：学校行事について

笛吹市義務教育振興会議の開催について
その他

生涯学習課：5月19日から6月2日までの事業報告

文化財課：5月16日から5月26日までの事業報告

春日居郷土館、青楓美術館、八田家書院、釈迦堂遺跡博物館の
5月の入館者数報告

図 書 館：町探検の実施について報告

6 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

7 議会に付した議案、議事の概要、議決事項

報告第1号：令和3年笛吹市議会第2回定例会提出議案等について

赤尾部長：資料に基づき説明

報告第1号：全員了知

議案第3号：令和4年度県教育施策及び予算に関する要望書について

太田課長：資料に基づき説明

長野課長：資料に基づき説明

内田委員：「教員免許更新制の廃止について」だが、産休や傷病等に
伴い、学校現場で代替の教職員を確保するのに苦勞されている
と思うが、これまで教職員として勤務してもらった予定だっ
たが、免許が切れていてお願いすることができなかつたなど、
実際に困った事例等はあつたか。

長野課長：実体験として、以前勤務していた学校で急遽代替教職員の確
保が必要となり、ある女性が見つかり安堵していたところ、
実際にその方は子育て等で少しの間学校現場から離れていた
ため、知らないうちに免許の期限が切れてしまつていたとい
う事例があつた。その時には、急遽通信で最短で取得できる
コースを受けていただき、更新を行つたが、当時5月頃から
代替の教職員を探し始めたが、結果として任用自体は2学期
からとなつてしまつた。

さらにもう1点例をあげると、免許の更新は45歳、55歳とい
つた下一桁が5の歳に更新を行うこととなつているが、例え
ば55歳になる手前で、介護等や様々な事情により一度辞めて
しまつた人は、後に学校現場に復帰しようとした際に免許の
更新をしていないため、期限切れとなつてしまつていること
がある。その場合に、もう一度講座を受け、お金を払つて更
新するということは現実として難しい。そのため、今後免許
の更新制度を変えるというよりは、制度自体を廃止してい
かないと現状として人材確保が厳しい。また、根本的な教職員
のなり手の問題にも影響してくるのではないかと思う。

久保田職務代理：どの要望も是非今後実現してもらいたい内容であると思う。

その中でも、「特別支援教育の人的充実について」だが、先
日学校訪問をした際に、特別支援学級における一人の教員が3

学年に渡って複数の児童の学習を教えている姿を見て、教育現場での経験が長い先生だからこそ授業が成り立っているのだと感じた。そういった状況を見て、1学級あたりの人数が多いと、どうしても経験が豊富な教員を置かざるを得なくなるため、若い教員に対しても寄り添った形で授業が行えるよう、なるべく少ない人数での学級編成が実現できたらと思う。また、こういった課題は、特別支援学級に限らず、今後学校全体にも関係してくる問題であると思う。

議案第3号：原案どおり決定

議案第4号：笛吹市立小中学校校外行事等に対する補助金交付要綱廃止に伴う要綱の制定等について

長野課長：資料に基づき説明

久保田職務代理：ヘルメット購入費の補助についてだが、私も廃止について同意する。中学生になって初めてヘルメットをかぶるというのではなく、小学生の時から自転車に乗るときにはヘルメットをかぶるものだという意識付けをしていく必要があると思う。今考えると、バイクに乗るときにヘルメットをかぶらないのは常識的に考えられないが、私たちが高校生の時には、原付バイクに乗る際に、ヘルメットの着用は義務ではなく、校則の中でのみ決められていたものであった。バイクについても、当初はそのような状態から始まり、今に至っていることを考えると、自転車においてもヘルメットはセットであると捉え、補助が出るからヘルメットをかぶるという意識ではなく、保護者も含めて、身を守ることを目的として小学生のうちから着用を定着させ、中学校で自転車を購入するときには自動的にヘルメットも購入するものだという意識付けをしていくことが大事であると思う。

議案第4号：原案どおり決定

8 教育長が必要と認める事項（議事資料）

なし

議事録署名

笛吹市教育委員会 教 育 長 _____

教育委員 _____

教育委員 _____

作成職員 _____